

# ボランティア通信 No. 2

2022年 4月18日(月) 発行

## 4月16日(土) 子ども食堂に2回目のボランティアに行きました。



### ボランティアの内容

- ・お弁当づくり 【カレー・サラダ】
- ・リサイクル品の整理
- ・子どもと遊ぶ 【絵本の読み聞かせ・話相手など。】



・2回目の子ども食堂のボランティアで、私は寄付された服や物を並べることと、弁当の盛り付けをしました。服や物は量がたくさんあって、決められたスペースで並べることが少し大変でした。服は、子ども服、大人の服とがあって、お客さんが選んで持って帰ってくれる姿を見て、うれしくなりました。弁当の盛り付けは、分量をちょうどよくすることが難しかったです。お客さんが来た時に、待ち時間に子どもの相手をしました。本を読んだり、話を聞いたり、楽しく活動することができました。子ども食堂を利用する人たちが、1回目にボランティアに参加した時に利用していた方が、今回も利用していたことが分かりました。ボランティアに参加してくれてうれしいと、子ども食堂の方々が声をかけてくれたことが、私はとてもうれしかったです。(2年 Eさん)

・子ども食堂の存在自体は知っていましたが、実際に行った事はなかったので、とても良い経験になりました。空間がとても暖かく、ボランティアの方も優しいので、「また来たい」「ずっとここに居たい」と思いました。子ども食堂を利用している人たちも、みんな笑顔で来ていて、とても気持ちがほっこりしました。ボランティアの方の中で最年長の生井さんは、知識や経験が豊富で、話を聞いて楽しかったです。(2年 Wさん)

・初めて子ども食堂に行った第一印象は、ボランティアのみなさんがとてもあたたかくて、初対面なのに親戚のような感じで落ち着きました。お弁当の準備が終わって、お客さんが待っている時、ボランティアの方々とたくさん会話をすることができました。その中でも、「もっと若い人に知ってもらいたい」などの声があり、今以上に周知できたらいいなと思えました。(2年 Wさん)

・初めてボランティア活動に参加したため、少し緊張してしまいましたが、現場にいる方々が優しく指導してくださったため、自分の仕事をきっちりこなせたと思います。子どもの個性豊かな一面に触れ、とても穏やかな気持ちになりました。また機会があり次第、参加したいです。(2年 Iさん)

## 4月17日(日) 鶴峯祭で、子ども食堂の募金活動をしました



・最初は、「募金してくれる人はいないだろうな」と思いながら呼びかけを始めました。しかし、たくさんの方がたくさんのお金を入れてくれて、うれしかったです。小学生以下の人から90歳の人までいろいろな人がニコニコしながら募金をしてくれました。募金箱の前を通り過ぎていく人もいたけれど、二高生と分かると戻ってきて募金をしてくれ、ボランティアをしてよかったなと思えました。(2年 Hさん)

・声かけは大きな声でできたけれど、全員がこちらに注目してくれるわけではなく、難しく感じた。次回は、目立つ物を持つことや、声かけをより大きな声でしたい。小学生くらいの子がたくさん募金してくれたのは、人としてすごいなと思えた。やりがいのあるボランティア活動でした。(2年 Tさん)

・思っていたより募金が集まり、びっくりでした。小学生くらいの子から高齢者の方まで、年齢問わず、いろいろな方から募金をしていただきました。今回のボランティアをモチベーションにし、次のボランティアもこの調子で頑張っていきたいと思いました。(2年 Kさん)

**32,733円集まりました。ありがとうございました。**